

事ややとて相攻て切らうとて及てあさき根子
鷹脚より墨川郡へうう白坂の西へ及てうう
て才の出入とてき通政とて都さ又少峰の城主等
川絶反ニ平林内を及てち原三千とてうう少て城と
ううて白川の合戦後反ちちうくけり形とて合
しとて初ゆる又平川絶反ち原の内意とて
蒲生秀行の所相照系唐沼乃々人をもに一揆と
たにうう及しとて都さう不云とてうう南に山王峰とて後
おあてう大玉但馬守に横川の若お陣とてとて近色
の谷川とてせきとて流水とてなく森劇の山とてきりふ

うき山王峰のこけとてうう山及小遠んてとて相
攻の具とてうくとてとて但馬守綿沢の篇とて
切て出づき偽ありううとて但馬守義宣の家老
梅原忠房の戸村を及てふ余人とてち原南園
ううとて少峰の才とてとてとてうう第宣の所地
東銀園島寺山川とて野山傳寺石川竹實仁井
所達田村の陣等野三表高城唐沼定念小川
乃方郭長とて遠行田とて又村里とてとて國士數
百人梅原とて村とてとてとてとてとてとてとて
人とて帥いうとて衆務の所代寺山瀧城とてとて